

ひとりひとりにやさしい  
ささえあいのまち宝塚へ

森 臨太郎

宝塚市長

# 話し合いのルール

- 話をしている人の意見を敬意をもって聴きましょう
- 話をしたい方は手を挙げ、指名されてはじめて話しましょう
- 多くの方が話せるように話は短くしましょう（時間制限）

# 経歴

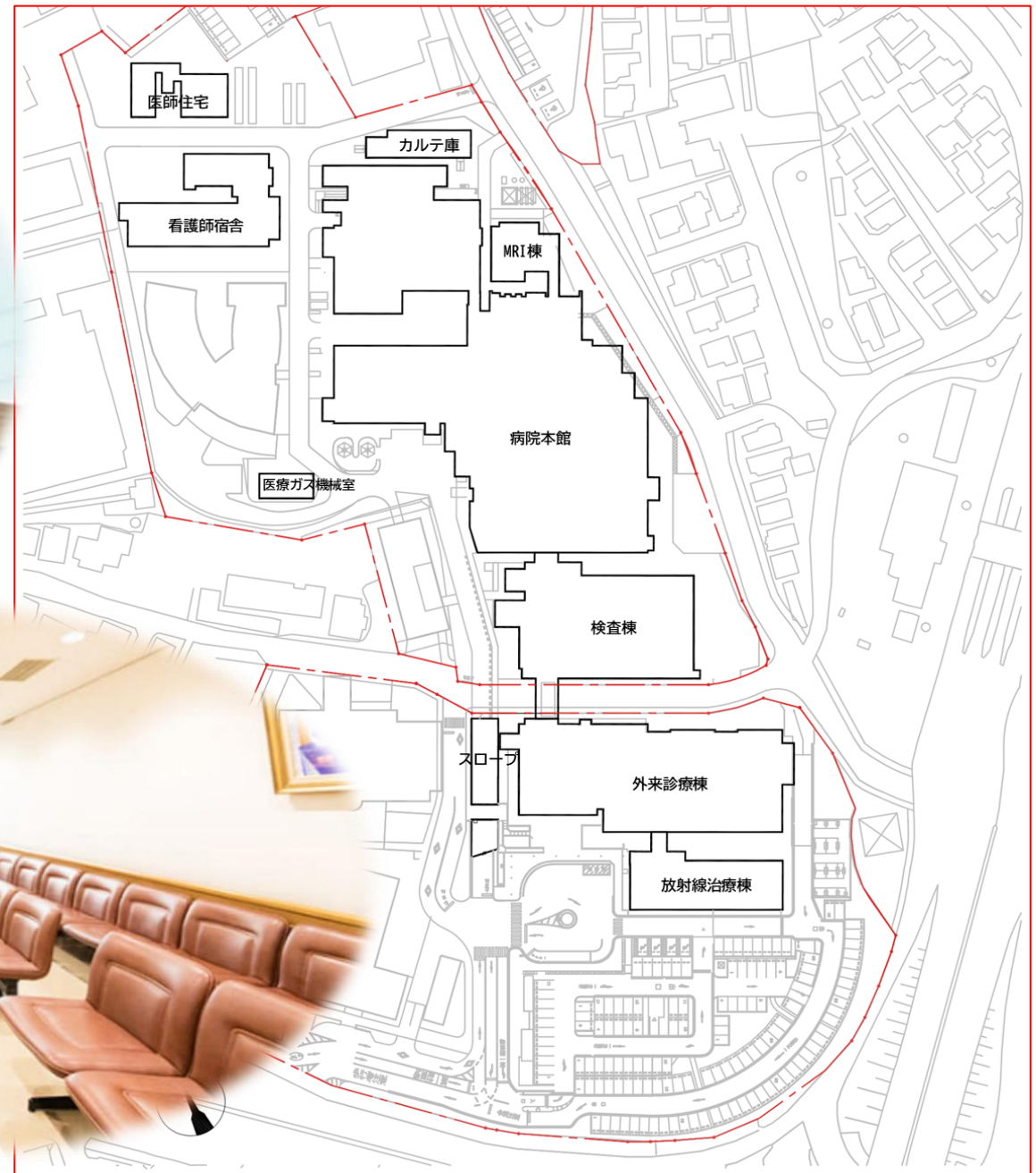
- 兵庫県西宮市出身 54歳
- 岡山大医・ロンドン大院卒
- 原体験1：共働学舎
- 原体験2：阪神淡路大震災
- 経歴1：小児科医（瀬戸内海⇒豪州）
- 経歴2：保健医療・福祉政策（英国⇒大阪⇒日本）
- 経歴3：人口経済政策（国連・アジア太平洋）

建て替えがせまる

宝塚市立病院の未来について



# 宝塚市立病院 (築41年)



# 宝塚市立病院の紹介

設立

昭和59年（1984年）5月21日 （築41年）

地域において中核的医療を行う基幹病院として、急性期医療の役割に加え、高度急性期病院としても一定の役割を担っています。

（診療科目）

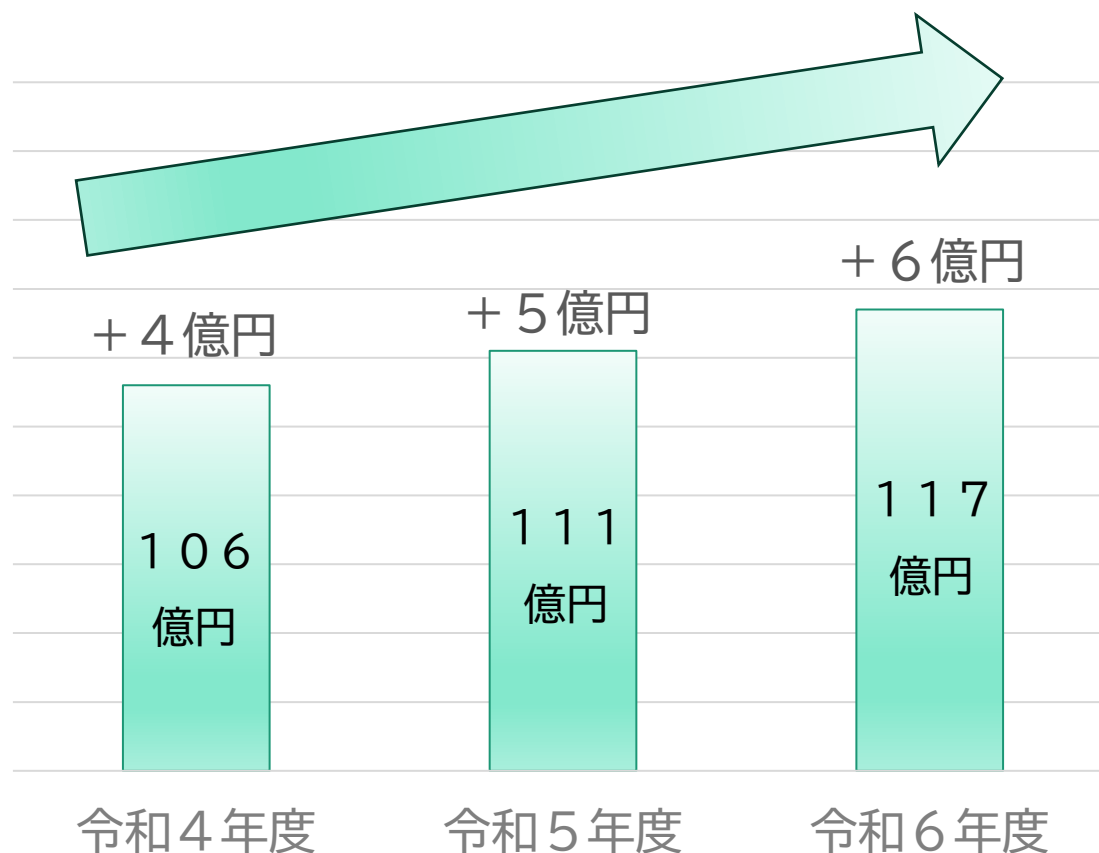
●内科、糖尿病内科、血液内科、リウマチ科、腫瘍内科、呼吸器内科、緩和ケア内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、心療内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科、乳腺外科

（救急医療）

●兵庫県指定救急告示病院（2次救急）として24時間365日体制で患者受入を行っています。

# 令和6年度決算見込み（宝塚市立病院）

入院収益と外来収益の合計



令和6年度の経常利益

約2億円の赤字

赤字ではありますが、  
前年度（令和5年度）と比較して  
2億円以上改善しています

市立病院を中心とした、  
医療、福祉、介護、保健に関する施設  
のネットワークを構築



国民健康保険診療所



健康センター



宝塚市立病院



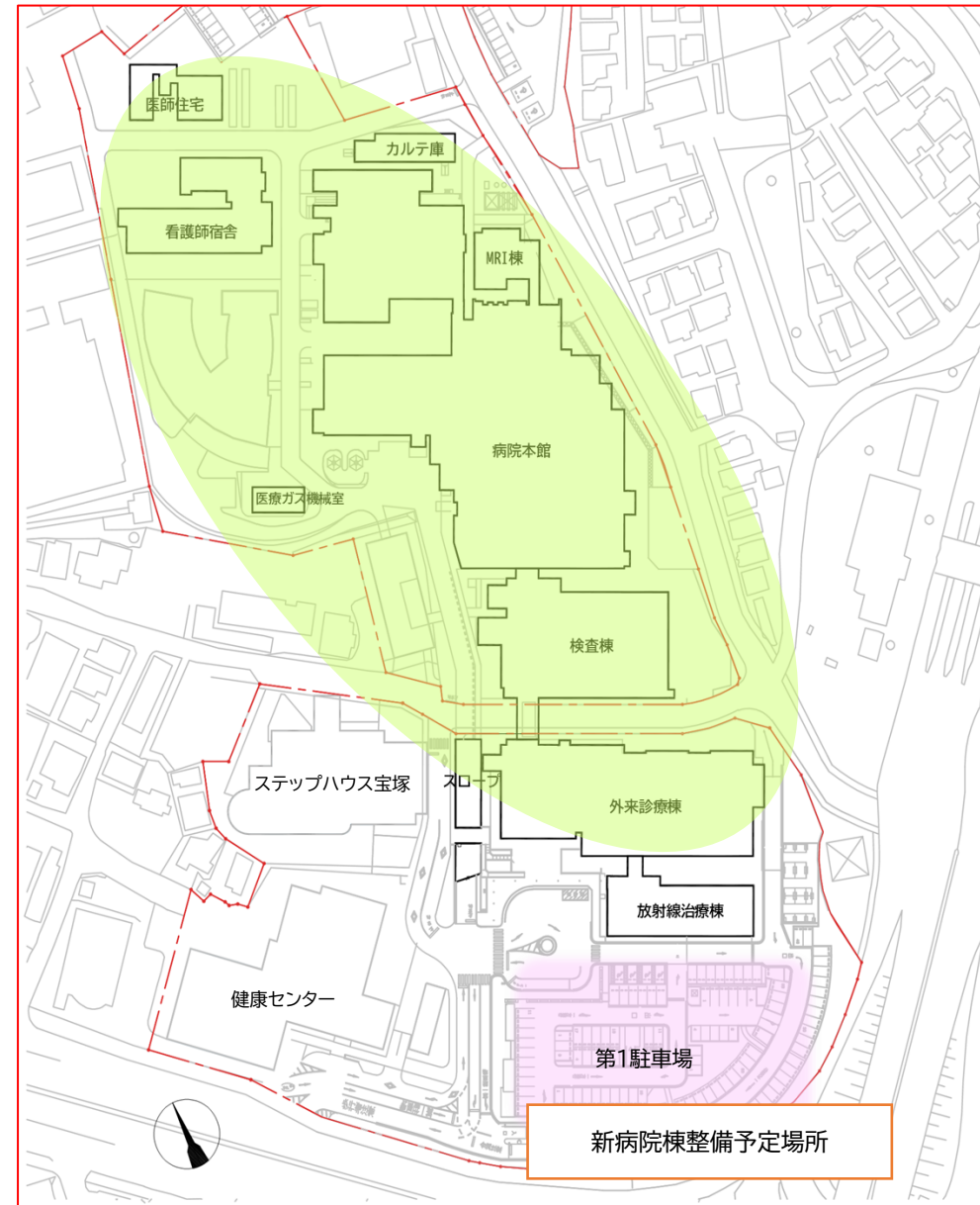
ステップハウス宝塚



子ども発達支援センター

# 新病院の整備

- 現在の施設では、新たな医療技術等に適切に対応できないことや、老朽化した施設の改修には多額の費用が必要になること、工事期間中の病棟閉鎖等が必要となることなど、経営や患者様に大きな影響を及ぼすことになります。
- 新病院を整備することで、新たな医療設備の導入による診療機能の強化、病室の個室率向上による院内感染防止や病床稼働率の向上、効率的な院内動線の確保などによる患者サービスの向上、効率的な病院運営を図り、今後も宝塚市に必要な医療を確保します。
- 新病院は現在の第1駐車場に整備する予定です。
- 既存棟を活用し、健康センター、子ども発達支援センター、ステップハウス宝塚の機能を集約化する検討をしていきます。



# 今後の予定

- 医療・福祉・介護・保健の連携のうち、施設の整備に関することを優先して検討を行い、新病院整備の基本計画に反映していきます。
- 同基本計画を策定した後も、各種連携について、継続して検討していきます。